

ユース環境活動のご紹介

若者たちが中心となって活動しているNGO団体をピックアップ! 彼らの活動をご紹介します。



ユースラムサールジャパン

“湿地の大切さを全国のユースに伝えたい”

「ユースラムサールジャパン」は、日本各地の湿地で活動する中学生から大学生の「ユース世代」による団体で、湿地を通じた交流や体験、学習を行っています。小学生のころから湿地で活動していた子どもたちの「中学・高校生になっても他の湿地を体験し交流する活動を続けていきたい」との思いから「ユースラムサールジャパン」が設立されました。

「ユースラムサールジャパン」の活動目的は、人間の生活とともに深く関わっている

湿地を守りつつも湿地にある資源を賢明に利用していくために、自ら湿地に対する正しい知識を学び、多くの同世代のユースや子どもたちに伝えることです。

2015年5月に藤前干潟(名古屋市港区)で行った「ユースラムサール交流会」では、その前年の2014年秋に行った「YOUTH会議」(藤前干潟ふれあい事業実行委員会主催)で、ユースたちで立案した“干潟に親しんでもらうためのプログラム”である『干潟まつり』を実施。企画や準備、当日のスタッフまで、

すべてユースを中心に行い、一般の家族連れ40名を藤前干潟に案内しました。

その他、交流会では参加者同士で議論する時間を設け、ユースならではの視点で湿地の良さや問題点を議論しています。このような議論を行う中で多くの人に湿地に親しみ、知ってもらうためのアイデアを考え、実践しています。今後、さらに多くの人に湿地の楽しみ方や、湿地の魅力や大切さを伝えていける活動にしていきたいと考えています。



f ユースラムサールジャパン (Youth Ramsar Japan)



Climate Youth Japan

“未来を変える若者「ミスター気候変動」”

Climate Youth Japan (CYJ) は、2009年コペンハーゲンで開催された「気候変動枠組条約第15回締約国会議(通称COP15)」に参加した日本のユースが中心となって設立。大学生と若手社会人が中心となって活動しているネットワーク型NGOです。2015年3月に5周年を迎えました。

CYJのキーワードは、「気候変動」「政策」「ユースの意見発信」。社会の中で若者が声を上げることで、気候変動問題の解決を通じた公平で持続可能な社会の実現をめ

ざしています。全国各地で定期的なワークショップの開催や、キャンペーン活動、海外ユースとの交流・活動、COP派遣事業などを企画・運営しています。

1. COP21 プロジェクト

世界の気候変動問題の将来を左右する国際会議の現場に立ち、世界各国から集まるユースと活動します。今年12月にパリで開催されるCOP21に向け、アクション・政策提言・メディアの3つのチームに分かれ

て作戦を練っています。世界に何を発信し、日本に何をもち帰るか?

2. 気候変動政策作成コンペティションの開催

全国のユースが政策を作成し、それを集めたコンペの開催を予定しています。このような機会を経て、日本のユース同士が交流するだけでなく、ユースと社会との関わりを増やし、自分自身で描いた政策や意見を社会に発信していく意見発信の場を作り上げていきます。



活動の最新情報はCYJのHPやFacebookからチェックしてください!

<http://climateyouthjapan.org/>

f climateyouthjapan

